



国際ロータリー会長 李 東建
第2730地区ガバナー 安 満 良明

2008～2009年度 国際ロータリーのテーマ **夢をかたちに**

事務局・例会場 鹿児島東急イン 会 長 右田 省二
〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F 会長エレクト 松田 泉
TEL 090-5295-2736 幹 事 国師 博久
FAX 099-251-5290 編 集 会報・広報委員会
例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ <http://www2.synapse.ne.jp/swrc/>

Vol. 13-23

第550回例会 平成20年12月11日(木) プログラム 「会員卓話 福迫 博君」

前回第549回例会[12月4日(木)]の報告 於：東急イン

【会長アドレス】会長 右田省二

経営環境が激しく変化する現在、企業においては様々な選別・淘汰を余儀なくされるといった、まさに逆風の真ただ中にあります。今や日本国内の企業の約8割が、赤字経営に陥っているといわれる状況です。そのため、各企業は、リストラや事業規模の縮小、あるいは自社の特性を再確認して市場や技術の変化に対応するなど、なんとかして黒字経営に転換させようと必死です。しかし、ここで気をつけなければならないことは、黒字経営のため利潤を追求するあまり、企業としての存在意義を見失ってしまうことです。昨今の食品の偽装問題などはこの例です。何事においても、プロセスの手順を誤ってしまうと、一時的には「成果」が上がったように見えても、結果的にはマイナスになるといったケースは多く見受けられるところでしょう。農業分野では成果を求めるあまり、化学肥料をまき続けた結果、一時的には生産性は向上したものの、土の地力は弱っていきました。その結果、作物は害虫に脆くなっていき、害虫駆除のために農薬をまき続けることになり、結果、人が口にすることができない作物を生産することになってしまっている。汚染米のことは記憶に新しいことです。

経営の神様といわれたドラッカーは、(古いと言われる方もおられるとは思いますが、私たちの経営学のベストセラーでした。)利潤は事業の妥当性を検証する一つの基準を提供するだけのものであると言っています。つまり、利潤とは、その企業の社会性・教育性が妥当かどうかを示す一つの基準に過ぎないということです。社会性とは、社会に対する貢献度であり、顧客を中心とした姿勢とも言い換えることができます。また、教育性とは、社会性を実現するための社内教育であり、全社員の品性を高めることです。物に品質があるように、企業にも品質があり、その質の低下が会社の衰退につながるものなのです。先のドラッカーは「経営者が身につけなければならないものは、品性である」と付け加えています。今日は「企業の衰退は質低下から」というテーマでした。

【会務報告】幹事 国師博久

- ① ロータリーの友12月号をお取り下さい。
- ② 鹿児島RCより「エイズ予防講演会」の案内が来ています。
12/7(日) 13:00～16:00 鹿児島大学にて
- ③ 日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会が3/16(月)琉球ゴルフ倶楽部にて行われます。
- ④ インターナショナルナイト募金ご協力のお礼状が鹿児島大留学生会会長より届いています。
- ⑤ H21年1月8日(木)新春合同例会 サンロイヤルホテルにて
12:30～13:30 出欠表にご記入下さい。

【ゲスト】米山奨学生 李海珠さん

【ビジター】米子RC・・・河島隆則君(写真右)
鹿児島RC・・・永田治雄君

【R財団寄付目標達成者】12/4 重久哲也君

《次回(第551回)例会のお知らせ》
日 時：H20年12月15日(月)
18:00～例会・家族会
場 所：東急イン2F
* 今年最後の例会となります。
12月18日(木)、12月25日(木)は
例会はありません。



「昭和43年に入会しロータリー歴41年。現在80歳です。病気も乗り越えて連続出席続けています。」

鹿児島サザンウインドロータリークラブ

2008～2009年度 クラブテーマ「夢を語り、果たそう未来への責務」

【プログラム】年次総会（次年度役員・理事選出）

年次総会の1週間前の例会（11月27日）において、松田会長エレクトが発表した右記の役員及び理事に対し、信任投票が行われ全員承認された。その後、前田会長ノミニー、井川次年度幹事、赤塚次年度SAAより一言づつ挨拶があった。理事会メンバーは右記6名の理事と、4名の役員に松田泉会長と右田直前会長を加え、計12名となります。



役職		氏名
役員	会長ノミニー (次年度会長エレクト)	前田正幸
	幹事	井川良仁
	SAA (会場監督)	赤塚晴彦
	副幹事兼会計	佐藤俊一
理事		濱田一郎
		梶 秀一郎
		小山田吉治
		松田圭治郎
		西 孝一
		下前建二

【ニコニコBOX】

- ◆赤塚晴彦君 アメリカ・イリノイ州 6510 地区 G S E チームは、11月30日、鹿児島・宮崎における全ての研修プログラムを終えて帰国しました。地区大会や城山でのビチャイ・ラタクル元 R I 会長との懇談の場を設定して頂き、また鹿児島空港にて早朝、9名の S W R C 会員の見送り御協力頂き、感謝しております。次年度フィンランド 1430 地区との G S E 交換に着手しました。その節は、再び御協力下さい。
- ◆北崎隆子君 イオン鹿児島ショッピングセンター隣、ミドリ薬品東開店、先週オープン致しました。目の美容院、是非皆さんおいで下さい。とっても気持ち

が良くて男性は王様、女性は王女様になった気分になります。井川さん、宣伝して頂いてありがとう。

《ニコニコ BOX 累計額 ￥211,000-》

【ゴメンナサイBOX】

- ◆川原篤雄君 喪中につき新年のごあいさつを遠慮申し上げます。(父 篤義 87歳 3月1日永眠)
- ◆福石堅郎君 NOV. long absence 誠に申し訳ない。各社中間決算役員会、名古屋、福岡と全て木曜日になり、やむを得ず例会出席出来ずゴメンナサイ。

《ゴメンナサイ BOX 累計額 ￥34,000-》

親睦と奉仕奉仕の心はクラブ・ライフを通じて育まれますから、奉仕の心を形成する場合は、クラブの正式な会合、即ち、例会ということになります。例会を通じて、ロータリアン各自が、高質で豊かな奉仕の心を培うためには、例会出席は欠かすことのできない義務であり、別な言い方をすれば、他のロータリアンに対する友情の証でもあります。

一人一業種で選ばれた会員が毎週開かれる例会に集って、お互いが師となり徒となって、奉仕の心を学び自己研鑽を重ねます。それをロータリー運動の一つの柱と考えて、それを達成するために試みられる、ロータリアン同士の真の友情に裏打ちされた凡ゆる活動のことを、ロータリーでは「親睦」と定義付けているのです。

友情溢れる例会を通じて、ロータリアンがお互いに切磋琢磨し自己改善に務めることで、ロータリーの説く親睦が一層深まり、奉仕の心が高まっていきます。(ロータリーの源流 奉仕理念より)

出席報告	会員数	出席数	出席率%
第549回 12月4日(木)	52	37	71.15
第547回 11月20日(木)訂正	52	49	94.23



市内他RCプログラム ★例会時間・場所等の変更			
月日曜	RC	プログラム	例会場
12月12日(金)	鹿児島RC	ゲスト卓話 柿内弘一郎会員	山形屋
12月15日(月)	中央RC	国際奉仕フォーラム	山形屋
12月16日(火)	東南RC	会長・幹事前期を終えて	ザロイヤルホテル
12月16日(火)	城西RC	★クリスマス家族会 19:00~	東急イン
12月17日(水)	南RC	会員卓話 福元寅典君・下栗信幸君	ザロイヤルホテル
12月17日(水)	西RC	★クリスマス家族会 18:30~城山観光ホテル	山形屋
12月17日(水)	西南RC	フリートーキング	ゆうづき
12月18日(木)	東RC	新春合同例会リハーサル	山形屋
12月18日(木)	北RC	家族クリスマス会 19(金)へ変更	東急ホテル